



せ い ゆ う か ん

星友館

せいゆうかんちゅうがっこう
星友館 中 学校

がっこう
学校だより

れい わ ねん ど だい ごう
令和 8 年度 第 8 号

ねん がつ にち
2026年 10月 29日

しっ ぱ い さ き 失敗のその先へ

こう ちょう
校 長

にんげん だれ しっ ぱ い きょうみぶか はんのう ひと こと
人間は誰も失敗しますが、興味深いのはそのときの反応が人によって異なることです。様々な反応を想像して、独断で次の4タイプに分けてみました。

① 逃げてしまうタイプ：「もうやらない、無理！」とあきらめてしまう方。

しっ ぱ い ふ あ ん つよ ちい せいこうたいけん つ かさ じしん
失敗への不安が強いのかも。小さな成功体験を積み重ね自信につなげていき

いものですね。② 周りのせいにするタイプ：「〇〇が悪い！」と、周囲の人や物

げんいん もと かた じぶん まも き も あらわ お つ ふ
に原因を求めてしまう方。自分を守りたい気持ちの表れかも。落ち着いて振り

かえ じぶん かんが きかい じぶん せ
返り、自分にできることを考える機会にしてみませんか。③ 自分を責めてしま

うタイプ：「自分はダメだ」と否定してしまう方。「失敗したこと」と「自分が

だめ ちが つた つぎ い た い ぶ
ダメなこと」は違うと伝えてあげたいものです。④ 次に生かすタイプ：「どうし

て失敗したのかな」と原因を考え、失敗から学ぼうとする方。その前向きな

しせい しっ ぱ い せいちょう ちゃん す か かのうせい かん
姿勢に、失敗を成長のチャンスに変えられる可能性を感じます。

じょうきょう しっ ぱ い ていど じぶん た い ぶ か
状況や失敗の程度によって、自分のタイプが変わることもあるでしょう。

でも、ここで注目すべきは失敗そのものよりも、「失敗した

あとにどうするか」です。「失敗しない人」は存在しませんが、

そのあとどう行動するかは自分で選ぶことができます。



さらに大切なのは、失敗したときの「自分への言葉」です。私たちは、相手

が失敗したときには「大丈夫、誰にでもあるよ」と優しい言葉をかけることが

できるものです。その一方で、自分が失敗したときには、③のタイプのように

じぶん きび ことば
自分に厳しい言葉をぶつけてしまいがちではないでしょうか。

でも、本当は、相手に温かい言葉をかけるように、自分に対しても同じよう

やさ ことば
に優しい言葉をかけてあげてよいのかもしれない。

失敗したとき、皆さんは自分にどんな言葉をかけていますか？「大丈夫、次があるよ…」心の中でそんな一言を自分自身にかけてあげることから、失敗のその先が始まると思うのです。

【11月の予定】

3日(火) 文化の白
4日(水) 大通高校インターシップ(就業体験)
*大通高校の生徒さんが授業にも参加
9日(月) ミニコンサート(16:40~)
11日(水)~15日(日) 本校も出品
美術・書道展(市民ギャラリー)
12日(木) 学力テストC① *希望者のみ
13日(金) 学力テストC② *希望者のみ
ゲームする会(16:20~)
18日(水) 新体力フェスティバル(4時間目)
*当日は各授業時間が変更となる予定
19日(木) イドバタタイム(16:45~)
23日(月) 勤労感謝の日
25日(水) 月曜授業、第2回学校公開日

【登校時間が17:10開始の日】

・11/5(木) ・11/18(水)
・11/26(木) ・11/30(月)

【後期入学式 ~10/28】

皆さんの新たな一歩を、
心より歓迎します。これからの学校
生活を楽しみながら、自分らしく学ん
でいかれることを願っています。



【第2回 避難訓練 ~10/17】

- 今回は「地震」を想定し、外階段を使
った訓練を行いました。机の下に隠
れるなど、「安全確保」を意識し
緊張感をもって行いました。
- 揺れがおさまったあとに、再び揺れ
る(余震)ことがあるので油断は禁物
です。また、災害の備えは家庭におい
ても大切です。避難場所や
持ち出し品などを確認して
おきましょう。



【冬支度、始めていますか？】

朝晩の冷え込みが厳しくなり、雪の
たよりも気になる季節になりました。
寒さに備える冬支度。心も体も温かくして
北海道の冬を元気に過ごしていきたいですね。



“学びの実り”を分かち合った 文化学習発表会 ~ 10/23

- 「学習成果の発表や自己表現を通して、自分や周りの方の成長を感じられること」や
「互いの親睦を深めること」などをねらいとして、文化学習発表会が開催されました。
- “学びの実り”ともいうべき教科展(国語・音楽・美術・体育・家庭・
日本語・校外学習)や有志発表に、一人ひとりの学びに向かう
熱意を感じました。また、発表会に向けて準備を重ねてきた
ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。
- 今回の発表会で得た経験を糧に、これからも日々の学びを
大切にしながら、一歩ずつ歩んでいきましょう！

